

がんばれ！ 道の駅”ソレーネ”

この木なんの木 気になる木

・道の駅ソレーネの駅長の二重在籍問題

昨年7月の1ヶ月間、初代駅長が埼玉県桶川市の職員とソレーネの駅長を兼務していた件について「処分を含め、1月から3月のうちに判断が示されることに」
議会への報告を約束された。

・道の駅ソレーネの借入金問題

2,000万円を市中銀行から調達。利息と元本の返済で新たに毎年数百万円の負担増が予想される。

市・執行部は「ツーリズム協会内の問題」とするが、市から13億円、国から6億円の公金が投入されているソレーネである。

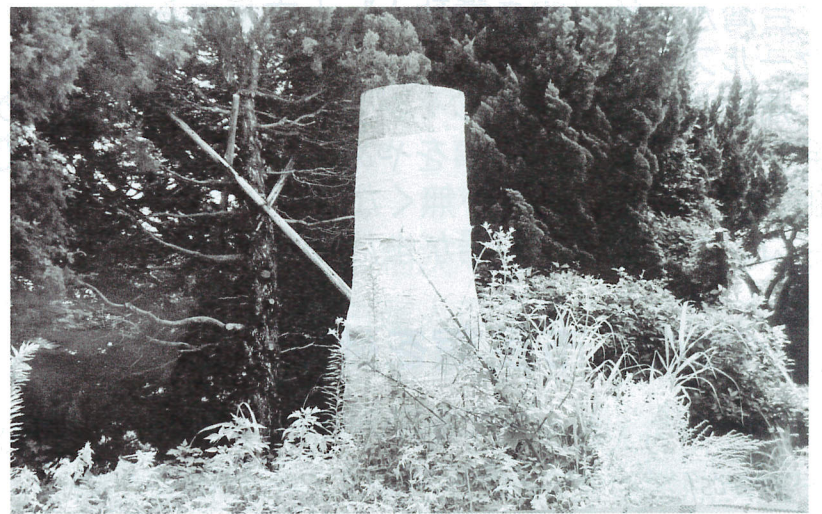
その現場が明るい雰囲気になっており、市の担当部もよく汗をかいている。現在の欠損が設立時の無理からきているなら、リース代等の立替等、経営・財務面の「手助けがもっとできないものか？」



2月にバス停オープン。工事が進む



にぎやかなソレーネ周南の店内



庁舎敷地内にあった徳山の歴史の証人クロガネモチ。代々木公園に無残な姿。新しい芽も...

樹齢推定
500年超



クロガネモチのかつての勇姿

《12月議会メモ》

鹿野・熊毛水道料金アップ（17～55%）

鹿野では平均所帯で今後3年をかけ、月4500円→7000円にアップ。

水道責任者からは「値上げは、水道整備のために必要と住民からの理解を得ている」
だが、地元の反対も少なくない。

新南陽保険センター存続の署名約2300人

「市民が廃止を知らないことに驚く」「利用者には学び交流の方が好評」と市当局。

廃止に反対の議員は2名のみ。